

がん対策の現状について

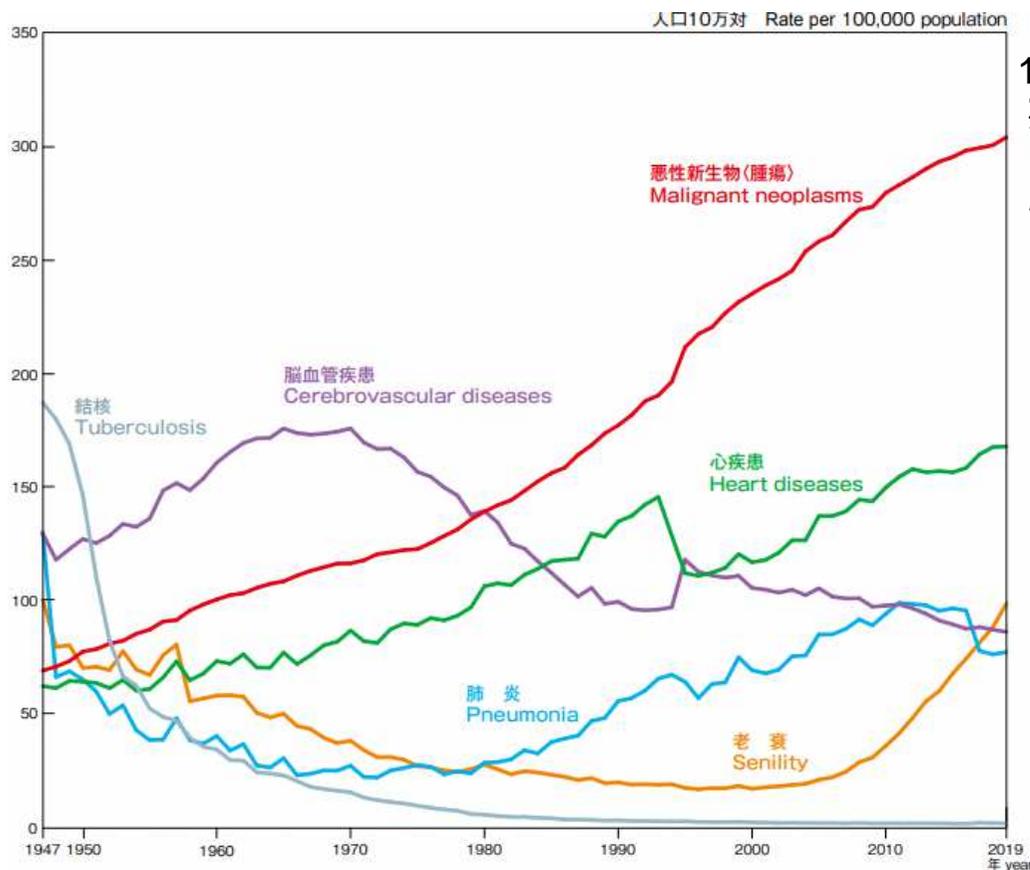
渡邊 清高

帝京大学医学部内科学講座 腫瘍内科

令和3年8月4日
令和3年度 第1回墨田区がん対策推進会議

日本におけるがんの現状

主な死亡原因（1947-2019）



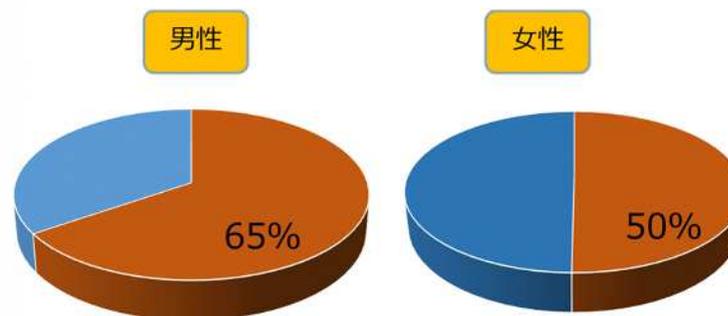
1981年以降死因のトップ

死亡数(2019)

376,425 (男性220,339, 女性156,086)

罹患数(2017)

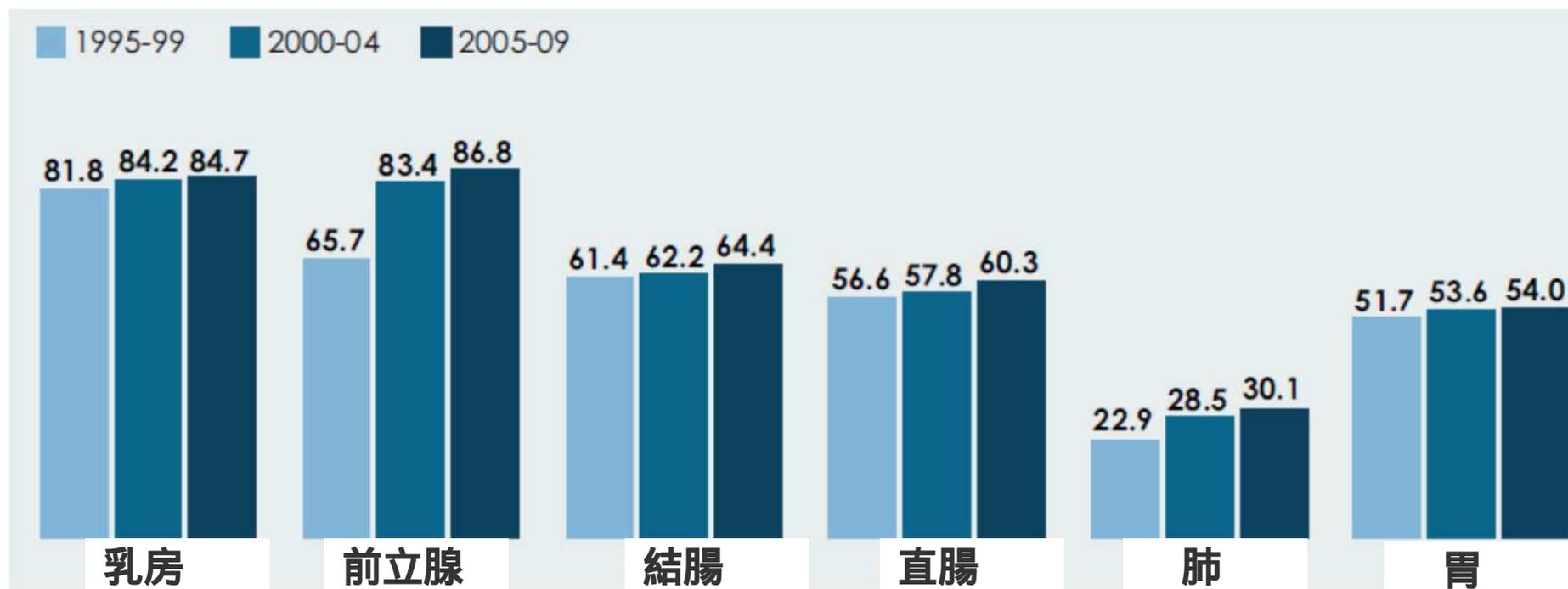
977,393 (男性588,869, 女性418,510)



生涯でがん罹患する確率 (2017年)

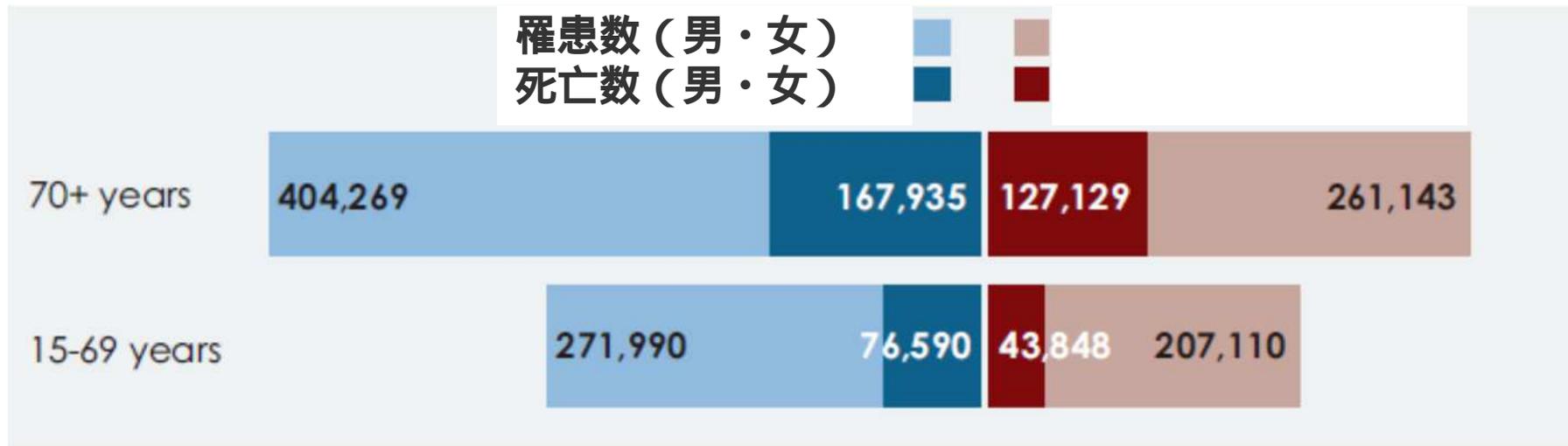
国立がん研究センター
がん対策情報センターによる推計値

日本における5年生存率は向上している (年齢調整 5年生存率, %)



“Global surveillance of cancer survival 1995–2009: analysis of individual data for 25,676,887 patients from 279 population-based registries in 67 countries (CONCORD-2)”, The Lancet, Volume 385, Issue 9972, 977-1010, March 2015. Available at: <https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/25467588>.

人口の高齢化とともに がんの罹患率と死亡率は増加している



Global Burden of Disease Study 2015 (GBD 2015) Results. Seattle, United States: Institute for Health Metrics and Evaluation (IHME), 2016. Available from <http://ghdx.healthdata.org/gbd-results-tool>.

東京都の年齢層別将来推計人口



総務省「国勢調査」〔昭和50年～平成27年〕

政策企画局「都民ファーストでつくる『新しい東京』～2020年に向けた実行プラン～」〔2020年以降〕

第3期がん対策推進基本計画（概要）（2018年）

第1 全体目標

「がん患者を含めた国民が、がんを知り、がんの克服を目指す。」

科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 患者本位のがん医療の実現 尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

第2 分野別施策

1. がん予防

- (1) がんの1次予防
- (2) がんの早期発見、がん検診（2次予防）

2. がん医療の充実

- (1) がんゲノム医療
- (2) がんの手術療法、放射線療法、薬物療法、免疫療法
- (3) チーム医療
- (4) がんのリハビリテーション
- (5) 支持療法
- (6) 希少がん、難治性がん
(それぞれのがんの特性に応じた対策)
- (7) 小児がん、AYA世代のがん、高齢者のがん
() Adolescent and Young Adult：思春期と若年成人
- (8) 病理診断
- (9) がん登録
- (10) 医薬品・医療機器の早期開発・承認等に向けた取組

3. がんとの共生

- (1) がんと診断された時からの緩和ケア
- (2) 相談支援、情報提供
- (3) 社会連携に基づくがん対策・がん患者支援
- (4) がん患者等の就労を含めた社会的な問題
- (5) ライフステージに応じたがん対策

4. これを支える基盤の整備

- (1) がん研究
- (2) 人材育成
- (3) がん教育、普及啓発

第3 がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

- 1. 関係者等の連携協力の更なる強化
- 2. 都道府県による計画の策定
- 3. がん患者を含めた国民の努力
- 4. 患者団体等との協力
- 5. 必要な財政措置の実施と予算の効率化・重点化
- 6. 目標の達成状況の把握
- 7. 基本計画の見直し

我が国のがん対策の中核的機関・がん診療連携拠点病院

1	独立行政法人 国立がん研究センター中央病院
---	-----------------------

都道府県がん診療連携拠点病院（2か所）

	施設名	役割
1	東京都立駒込病院	地域連携の中心
2	公益財団法人 がん研究会有明病院	がん医療に係る人材育成の中心

地域がん診療連携拠点病院（26か所）

	施設名	高度型	担当二次保健医療圏（※）	構成区市町村
1	東京慈恵会医科大学附属病院		区中央部	千代田、中央、港、文京、台東
2	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院			
3	順天堂大学医学部附属順天堂医院			
4	東京大学医学部附属病院			
5	東京医科歯科大学医学部附属病院			
6	日本医科大学付属病院		区東北部	荒川、足立、葛飾
7	聖路加国際病院		区東部	墨田、江東、江戸川
8	東京都立墨東病院			
9	N T T 東日本関東病院	○		
10	昭和大学病院		区南部	品川、大田
11	東邦大学医療センター大森病院			
12	独立行政法人国立病院機構 東京医療センター	○	区西南部	目黒、世田谷、渋谷
13	日本赤十字社医療センター			
14	慶應義塾大学病院	○		
15	国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院		区西部	新宿、中野、杉並
16	東京医科大学病院			
17	帝京大学医学部附属病院	○	区西北部	豊島、北、板橋、練馬
18	日本大学医学部附属板橋病院			
19	青梅市立総合病院		西多摩	青梅、福生、羽村、あきる野、瑞穂、日の出、檜原、奥多摩
20	東京医科大学八王子医療センター		南多摩	八王子、町田、日野、多摩、稲城
21	東海大学医学部付属八王子病院			
22	独立行政法人国立病院機構 災害医療センター		北多摩西部	立川、昭島、国分寺、国立、東大和、武蔵村山
23	武蔵野赤十字病院	○		
24	杏林大学医学部附属病院		北多摩南部	武蔵野、三鷹、府中、調布、小金井、狛江
25	東京都立多摩総合医療センター			
26	公立昭和病院		北多摩北部	小平、東村山、西東京、清瀬、東久留米

東京都のがん医療提供体制

国立がん研究センター中央病院	1
国指定がん診療連携拠点病院	28
都指定がん診療連携拠点病院	7
都がん診療連携協力病院	16

東京都がん診療連携拠点病院

	施設名	所在する2次保健医療圏
1	社会福祉法人三井記念病院	区中央部
2	国際医療福祉大学三田病院	
3	東京都済生会中央病院	
4	独立行政法人地域医療機能推進機構 東京新宿メディカルセンター	区西部
5	順天堂大学医学部附属練馬病院	区西北部
6	日本医科大学多摩永山病院	南多摩
7	東京慈恵会医科大学附属第三病院	北多摩南部

東京都がん診療連携協力病院

	施設名	対象となるがん種	所在する二次保健医療圏
1	東京通信病院	肺・胃・大腸・乳・前立腺	区中央部
2	公益財団法人ライフ・エクステンション研究所付属 永寿総合病院	大腸	
3	公益財団法人東京都保健医療公社 東部地域病院	胃・大腸	区東北部
4	社会福祉法人仁生社 江戸川病院	前立腺	区東部
5	東邦大学医療センター大橋病院	肺・胃・大腸・肝・乳・前立腺	区西南部
6	公立学校共済組合 関東中央病院	肺・胃・大腸・肝・乳・前立腺	
7	河北総合病院	大腸	区西部
8	公益財団法人東京都保健医療公社 豊島病院	胃・大腸	区西北部
9	東京都健康長寿医療センター	肺・胃・大腸・前立腺	南多摩
10	公益財団法人東京都保健医療公社 多摩南部地域病院	大腸・前立腺	
11	国家公務員共済組合連合会 立川病院	肺・大腸・肝・乳・前立腺	北多摩西部
12	医療法人徳洲会 東京西徳洲会病院	乳	
13	社会医療法人財団大和会 東大和病院	大腸	
14	公益財団法人東京都保健医療公社 多摩北部医療センター	大腸・前立腺	北多摩北部
15	公益財団法人結核予防会 複十字病院	肺・大腸・乳	
16	独立行政法人国立病院機構 東京病院	肺	

東京都内の小児がん拠点病院

	施設名	所在地
1	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター	〒157-8535 東京都世田谷区大蔵2-10-1
2	東京都立小児総合医療センター	〒183-8561 東京都府中市武蔵台2-8-29

東京都小児がん診療病院

	施設名	所在地
1	国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院	〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1
2	東京慈恵会医科大学附属病院	〒105-8471 東京都港区西新橋3-19-18
3	東京医科歯科大学医学部附属病院	〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45
4	順天堂大学医学部附属順天堂医院	〒113-8431 東京都文京区本郷3-1-3
5	東京大学医学部附属病院	〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1
6	日本医科大学付属病院	〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5
7	聖路加国際病院	〒104-8560 東京都中央区明石町9-1
8	東邦大学医療センター大森病院	〒143-8541 東京都大田区大森西6-11-1
9	慶應義塾大学病院	〒160-8582 東京都新宿区信濃町35
10	国立国際医療研究センター病院	〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1
11	日本大学医学部附属板橋病院	〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町30-1
12	帝京大学医学部附属病院	〒173-8606 東京都板橋区加賀2-11-1
13	杏林大学医学部付属病院	〒181-8611 東京都三鷹市新川6-20-2

東京都のがん医療の地域特性

都内には高度ながん医療を提供できる大規模な医療機関が、区中央部を中心に集積している。

二次保健医療圏の平均人口は全国の約2.8倍であり、比例してがん患者も多い。さらに、他道府県に居住する多くのがん患者が都内の医療機関を受療している。

交通網の発達により、がん患者の受療動向は医療圏を交錯している。

都内の拠点病院等（2次医療機関別）における他道府県または他圏域に居住するがん患者割合



東京都がん対策推進計画（第二次改定）の全体図

全体目標

『 がん患者を含めた都民が、がんを知り、がんの克服を目指す。 』

科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実
～がんを知り、がんを予防する～

患者本位のがん医療の実現
～患者本人の意向を尊重し、
トータルケアの視点を持ったがん医療の推進～

尊厳を持って安心して暮らせる地域共生社会の構築
～がんになっても
自分らしく生きることのできる社会を実現する～

指標	現行値	目標値
がんの75歳未満年齢調整死亡率	75.5	減らす (67.9未満)
日常生活をがんによる痛みに苦しむことなく過ごすことができていると回答した患者の割合	66.9%	増やす

分野別施策

分野	主な取組の方向性		
I がんの一次予防 がんのリスクの減少（がんの一次予防）に向けた取組の推進	1 生活習慣及び生活環境に関する取組	○喫煙率の減少に向けた啓発や環境整備の推進、受動喫煙防止対策の推進 ○科学的根拠に基づくがんのリスクを下げるための生活習慣に関する普及啓発、生活習慣を改善しやすい環境づくりの推進	
	2 感染症に起因するがんの予防に関する取組	○肝炎ウイルスに関する普及啓発と検査体制の整備、HIV-1に関する検査の普及実施、HPVやヘリコバクター・ピロリに起因するがん予防	
II がんの二次予防 がんの早期発見（がんの二次予防）に向けた取組の推進	1 がん検診の受診率向上に関する取組	○受診率向上に向けた関係機関の支援の推進、検診受診に関する普及啓発の推進	
	2 科学的根拠に基づくがん検診の実施及び質の向上に関する取組	○科学的根拠に基づく検診の実施及び職場におけるがん検診の適切な実施に向けた支援の推進	
III がん医療提供体制 患者及び家族が安心できるがん医療提供体制の推進	1 都内のがん医療提供体制の充実	○拠点病院等における医療提供体制の充実（トータルケアの提供を目指したチーム医療の推進等） ○在宅におけるがん医療の推進（拠点病院と地域の医療機関との連携等） ○医療・療養に関する情報提供の充実	
	2 その他の医療提供の推進	○がんのリハビリテーションの推進 ○がんゲノム医療の推進、科学的根拠を有する免疫療法等の普及啓発・治療法の推進の検討	
IV 緩和ケアの提供 がんと診断された時からの切れ目のない緩和ケアの提供	1 都内の緩和ケアの提供体制の充実	○拠点病院等における緩和ケアの充実（診断時から緩和ケアの充実、基本的な緩和ケアから専門的な緩和ケアへ速やかにつなぐ体制の整備等） ○緩和ケア病棟のあり方の検討 ○拠点病院等と地域の医療機関との連携体制の確保、在宅緩和ケアの推進	
	2 緩和ケア研修会の充実・強化	○がん診療に携わる医師及び医師以外の医療従事者の基本的緩和ケアに関する知識の習得	
	3 緩和ケアに関する普及啓発の推進	○都民や患者・家族への緩和ケアに関する正しい知識の普及啓発等	
V 相談支援・情報提供 がんに関する相談支援・情報提供の充実	1 各相談支援窓口の充実	○がん相談支援センターの認知度向上と多様なニーズに対応可能な体制や取組の充実 ○患者団体・患者支援団体、ピアサポート、患者サロン等の充実・情報発信等 ○各相談支援窓口の連携と情報共有	
	2 就労継続への支援等	○働きながら治療が可能な医療提供体制の整備、都民や企業等の理解促進等	
	3 就労以外の社会的な問題への対応	○治療による外見の変化や後遺症などへの適切な相談支援や必要な取組の検討等	
	4 情報提供の充実	○東京がんポータルサイトの内容充実と認知度向上等	
VI ライフステージに応じたがん対策	小児がん・AYA世代のがん患者	1 医療提供体制の強化・構築	○小児がん医療提供体制の充実・強化等 ○AYA世代のがん患者に対する医療提供体制の構築に向けた調査・検討等
		2 相談支援の充実	○小児がん患者に対する相談支援の充実と質の均てん化、相談窓口の周知等 ○AYA世代のがん患者に対する相談支援の充実に向けた調査・検討等 ○生体機能の温存に関する情報提供、病院内教育体制の充実等
		3 緩和ケアの提供体制の充実	○拠点病院等における適切な緩和ケアの提供に向けた病院内の連携方法等の検討等
	働きながら治療を受けるがん患者	1 就労継続・就職への支援等	○働きながら治療が可能な医療提供体制の整備、都民や企業等の理解促進等
	高齢のがん患者	1 医療及び緩和ケアの提供体制の推進	○在宅医療との連携促進、認知症等を発症したがん患者の意思決定支援
		2 相談支援の充実	○相談支援窓口の連携体制の構築と情報提供

Ⅶ がんとの共生

- サバイバースHIP支援
- トータルケアの提供
- がん患者の要するQOLの向上
- 多様なニーズに対応する相談体制
- 治療と社会生活との両立
- がんに関する正しい理解の促進

Ⅷ 施策を支える基盤づくり

- | | | |
|--|---|---|
| <p>1 がん登録の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国がん登録の質の向上と普及啓発の実施 ○ 院内がん登録の質の維持向上と分かりやすい情報提供 | <p>2 がんに関する研究の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ がん研究の都民な推進 | <p>3 がんに対する正しい理解の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校におけるがん教育の推進 ○ あらゆる世代に対するがんの理解促進及び啓発の推進 |
|--|---|---|

I～VI及びⅦの取組により実現を目指す。

第5章 計画推進のために

全体目標の達成に向けて、都や区市町村、都民、医療機関、事業者、医療保険者、教育機関等の関係者が一体となってがん対策に取り組みます。

1 都民の役割

がんに関する正しい知識やがん患者に関する理解を持ち、積極的に健康づくりやがん検診受診に努めるとともに、がんが発見された場合には、自らの治療等について、医療サービスの受け手としてだけでなく、主体的に選択し、臨むことが求められます。また、がん患者及び家族を支えるボランティア活動の担い手としても期待されており、都のがん対策の推進に向けて、行政、医療機関、関係団体等と協働に努めます。

2 医療機関等の役割

- (1) 検診実施機関
- (2) 医療機関（がん診療連携拠点病院、小児拠点病院、地域の病院・診療所等）
- (3) その他医療提供施設、介護施設等
- (4) 各種関係団体

3 事業者の役割

がんのリスクを下げるための生活習慣の改善やがん検診の受診の促進
がんに罹患した従業員の治療と就労の両立の配慮等

4 医療保険者の役割

医療保険加入者（被保険者・被扶養者）の生活習慣の改善やがん検診の受診の促進

5 学校等教育機関の役割

児童・生徒の健康教育の充実、教職員の研修、健康の大切さの理解と望ましい生活習慣の実践を支援、がん患者に対する正しい理解の促進

保護者や地域の関係機関との連携強化、がん教育の一層の推進

5 行政の役割

(1) 東京都

本計画に基づき、国、区市町村、都民、検診実施機関、医療機関、各種関係団体、事業者等と連携を図りつつ、がん対策を総合的かつ計画的に推進していきます。また、がん対策の推進に当たり都民の声を反映するように努めるとともに、目標の達成状況の評価を行うなど、本計画の進行管理も行います。

(2) 区市町村

住民のがんを予防するため、科学的根拠に基づくがんのリスクを下げる生活習慣及び生活環境について、正しい理解と実践に向けた取組を進めます。

がん検診の実施主体として、検診指針に基づく質の高いがん検診を実施するとともに、がん検診受診の促進に向けた普及啓発を行い、受診率の向上等に努めます。また、精密検査の結果の把握に努め、適切に受診勧奨することにより、精密検査の受診率向上を目指します。

また、がんになっても自分らしく生きることのできる地域共生社会の構築に向け、都や地域の医療機関等との連携及び協力を進めていきます。